TOYOINKGROUP

PhosphoQUANTI SolidBlue Complex

取扱説明書

2011. 11.

Ⅰ. 製品構成

製品名	コード No.	内容量	保存条件
PhosphoQUANTI SolidBlue Complex	PQ-SB11	10 mg	-20℃

Ⅱ. 保存方法

1. 本試薬は-20℃保存です。
2. 製品の外箱に記載された使用期限内に使用してください。

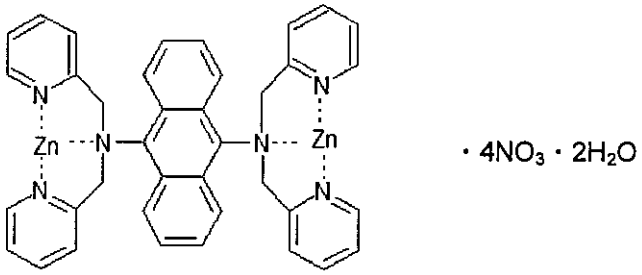
Ⅲ. 製品情報

化学名：[m-N,N,N',N'-テトラキス[(2-ピリジニル-κN)メチル]-9,10-アントラセンジメタンアミン-κN : κN']]二亜鉛-四硝酸二水和物

化学式：$C_{40}H_{36}N_6Zn_2 \cdot 4NO_3 \cdot 2H_2O$

分子量：1015.59 g/mol

化学構造式：



$\cdot 4NO_3 \cdot 2H_2O$

溶解性：50%メタノールで溶解することを確認している。

Ⅳ. 参考データ

PhosphoQUANTI SolidBlue Complex は、生理的条件下でリン酸化アミノ酸の種を問わずリン酸化アミノ酸と強い親和性があります(図 1)。

さらに、リン酸化ペプチドに対しては 1 μM から定量が可能です(図 2)。

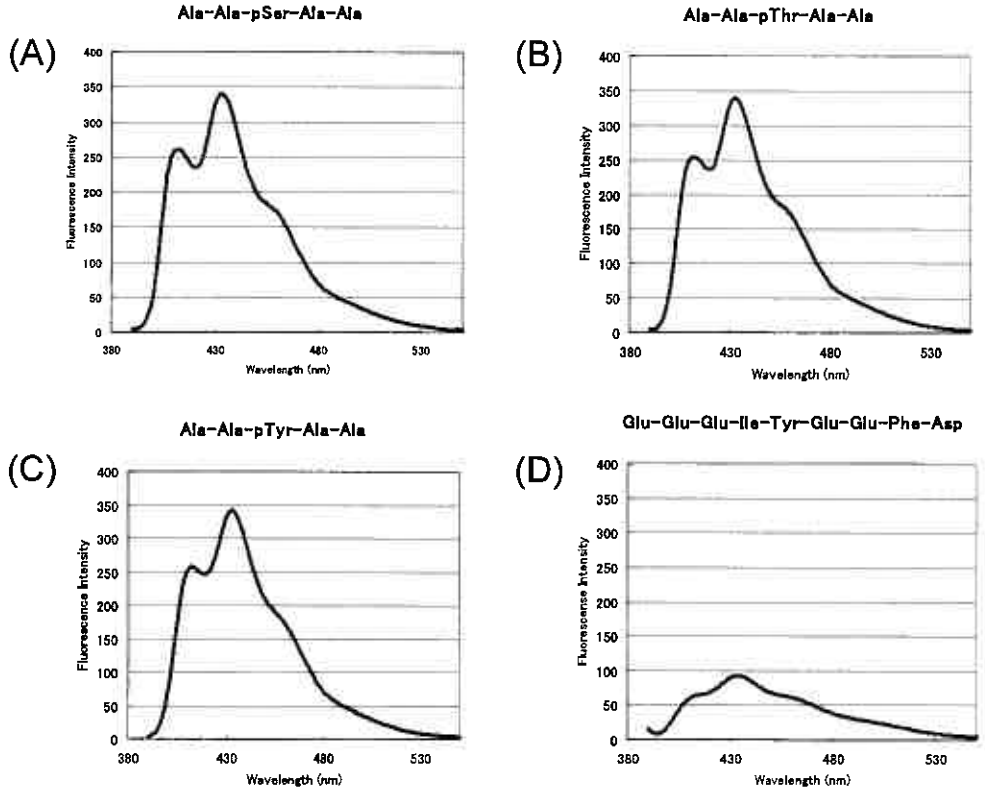


図 1. リン酸化アミノ酸含有ペプチドおよび非リン酸化アミノ酸ペプチドの蛍光滴定試験。
生理的条件下(50 mM HEPES pH 7.2)において、PhosphoQUANTI SolidBlue Complex に対しリン酸化アミノ酸含有ペプチドまたはリン酸化アミノ酸非含有ペプチドを滴下した際の蛍光スペクトル変化。A)リン酸化セリン含有ペプチドを滴下した場合の蛍光スペクトル B)リン酸化スレオニン含有ペプチドを滴下した場合の蛍光スペクトル C)リン酸化チロシンを滴下した場合の蛍光スペクトル D)リン酸化アミノ酸非含有ペプチドを滴下した場合の蛍光スペクトル。滴下したペプチドの濃度はそれぞれ 2 μM。 励起波長はいずれも 380 nm。
データご提供:京都大学大学院 工学研究科 濵地研究室 王子田先生

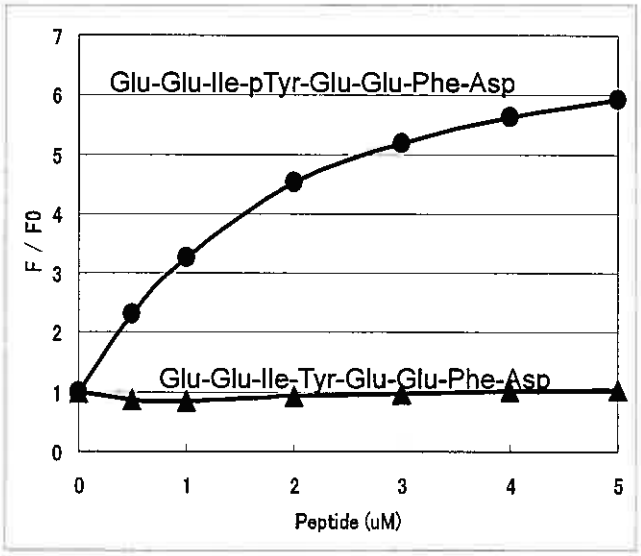


図.2 PhosphoQUANTI SolidBlue とリン酸化アミノ酸含有ペプチド(●)および非含有ペプチド(▲)との滴定曲線。
リン酸化ペプチドにおいては 1μM から検出可能であることが示された。
データご提供:京都大学大学院 工学研究科 濵地研究室 王子田先生

Ⅴ. 安全上のご注意

- 本製品を研究用途以外には使用しないでください。
- 本製品の廃棄は、専門の廃棄物処理業者に委託して行ってください。
- 本製品に使用する他の試薬・器具・機械は、使用前に必ずおのおのの使用説明書をよく読み、その指示に従って調製・準備を行ってください。
- 材質によっては、試薬の付着により腐食・変色する場合がありますので、試薬が付着した器具・機械は蒸留水でよく洗浄してください。

Ⅵ. 使用方法のご注意

- 製品の安全性についてのご質問は、下記問い合わせ先にご連絡ください。
- 本製品を火気に近づけないでください。燃焼または高温により有害なヒューム（亜鉛酸化物等）が生成する恐れがあります。
- 試薬類を誤って飲み込んだ場合は、応急処置として水を飲ませ、直ちに医師の診断を受けてください。
- 手袋・保護用メガネ等により適切な身体保護を施し、試薬類の身体への接触を避けてください。万一、試薬類が目に入ったり、皮膚に付着した場合は、応急処置として水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 使用期限と保存条件を厳守してください。
- その他、ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

= お問い合わせ先（ 9:00～17:30 ）=
東洋ビーネット(株) バイオプロダクツ部
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-3-13
TEL: 03-3292-1954
FAX: 03-3272-8276
E-mail: bio@toyo-b-net.co.jp
HP: http://www.toyo-b-net.co.jp/

Ⅶ. ライセンスに関する注意事項

本製品を購入した際、事前にご提出いただいている購入同意書の内容を遵守してください。